

# 子供と向き合う時間を確保するために

1. 目的 教員が心にゆとりをもって、子供とじっくり向き合うことができる教育の実現に向けて、教員の負担感・多忙感を軽減するための環境づくりに努める。
2. 内容
  - ①会議の効率化
    - ・ 会議の議題等の精選及び会議の資料の事前配布などに努め、短時間で効率よく共通理解を図る。
  - ②学校行事の負担軽減
    - ・ 各行事の改善点を洗い出し、次年度に向けた整備、改善を明らかにする。
    - ・ 各行事の目的や内容の再検討を行い、行事の精選について検討する。
  - ③校内組織の見直し
    - ・ 次年度の担当が効率的に業務を行うことができるよう、引き継ぎ書等において取り組むべき課題を明らかにする。また、教員の協働体制を確立する。
  - ④業務の効率化
    - ・ 教材、教具を共有するなど、個々の教員の負担を軽減し協同性を高める。
    - ・ 校務分掌のマニュアル化、電子データの共有化を推進し、作業効率を高める。
  - ⑤地域人材の活用
    - ・ P T A と連携し、地域人材の発掘を図る。人材バンクを作り、地域の人材資源を有効に役立てる。
  - ⑥生徒指導
    - ・ 児童理解を深めるため、スクールカウンセラーや専門機関を積極的に活用する。
    - ・ 個々の児童への関わり方について研修し、教員相互の共通理解を図りながら適切に指導、支援に取り組む。